

岐阜高専 TOPICS

『平成 1 8 年度東海地区高専留学生交流会を実施』

東海地区の5高専（沼津・豊田・鈴鹿・鳥羽・岐阜）では、去る12月24日～26日、留学生34名引率教職員17名の計51名で、平成18年度東海地区高専留学生交流会を実施した。昨年度からはじまり2度目となった今回の交流会は、岐阜高専が当番校となって実施した。

1日目には「高山まつりの森」を見学し、留学生は祭りの屋台やからくり人形など、日本の伝統文化に触れることができた。国立乗鞍青少年交流の家に宿泊し、2日目および3日目にはスキー研修を実施した。マレーシアなど熱帯地方出身の留学生が多く、はじめてスキーを体験した留学生が大勢いたが、留学生は上手に滑られるようになった。

参加した留学生は、他高専の留学生のみならず引率教職員とも十分な親睦を深めることができた。平成19年度東海地区高専留学生交流会は鳥羽商船高専が当番校となっている。



留学生及び引率教職員の集合写真